



# 横尾中だより

校訓「自立」 〈学校スローガン No Challenge, No Chance〉

R5. 7. 14  
第22号

発行者  
長崎市立横尾中学校  
校長 小浦 末浩

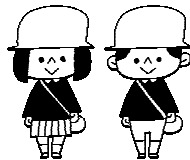
## 地域の達人講話2

7月12日(水)の5校時、地域の達人講話2として、横尾中学校区青少年育成協議会の三浦正二会長様にご来校いただき、育成協で取り組んでいることや本校の歴史について語っていただきました。三浦さんには、横尾小学校時代から「もちつき・マラソン大会」をはじめ、いろいろな行事で関わっていただいていますので、生徒も知らない人はいない、本当によく知っている「地域のおじちゃん」ではないかと思えます。

当初、7月1日(土)の土曜授業の折に、保護者の皆様や地域の皆様にもご来校いただく予定になっていたのですが、荒天のために延期させていただきました。学校としては、生徒に是非に聞かせたい内容でもあり、無理をお願いし、12日水曜日にご講演いただきました。

冒頭、横尾小学校区の人口構成についての話がありました。(令和3年)

15歳未満	883人
15~64歳	4077人
65歳以上	2983人



大雑把に計算すると、15歳未満が1割、高齢者が4割、15歳から64歳が5割となります。高齢者の割合が高いことに驚いているところです。また、子ども会の加入率が7割で、市内でもトップの加入率とのことでした。

育成協・子ども会・連合自治会等が取り組んでいる地域の行事を写真付きで、いつ始まったか、どのようなことがきっかけで始まったか、その経緯についてもお話をいただきました。そして、生徒たちがあまり知らない、5年前に横尾小学校区コミュニティ連絡協議会ができた経緯や体制、あの「笑顔でつながるオール横尾」の標語についても話がありました。その他にも、小学校の田植え・稲刈り、猪フェンス設置、笑顔サロン、花いっぱい運動、上横尾バス停付近の交通安全の看板の設置など、行事以外の取組についても説明がありました。

この講演会には、坂本連合自治会長様や滑石地域センターの松尾所長様も是非聞きたいと、体育館に来られました。

その他、本校に関わることとして、創立20周年事業として噴水「希望の泉」修理や学びの道のあじさいの植樹、今生徒たちが通っている学びの道は、平成13年の夏休み期間中に2億ぐらいのお金をかけて設置したこと、正面玄関右手の「自立の森」も当時のPTA会長さんたちが設置してくれたこと、今も続いている門松作りが始まった経緯など、私も知らない多くのことを初めて聞き、勉強になりました。

三浦さんは、この講演会のために、歴史なども調べなおした、とおっしゃられておられました。貴重なご講演だったことを、改めて感じたところでした。



### \* お知らせ \*

三浦さんの講演会の中でも、ブラスバンド部の楽器が不足した時に、購入のため、400万円ぐらいの募金活動を行った話がありました。

そのブラスバンドが「サマーコンサート」を開きます。

7月16日(日):ふれあいセンター

10:30 開場

11:00 開演



です。お時間のある方はどうぞ、お越しください。  
また、7月23日(日)には寺川内夏まつり(寺川内公園、15時開始)にも、参加し、演奏します。こちらにもどうぞ、お越しください。